

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
はこつみあそび ～フルーツケーキいただきます～	小	グループ学習 (国語・算数)	重永 将志 竹下 久実 柴田 響子

<ねらい>

- ・自ら見たり、聞いたり、選んだりして楽しみながら積んだり、崩したりする。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

作成方法：①段ボールに、フルーツやケーキの材料をイメージさせる色の画用紙を貼り、更にフルーツのイラストを貼り付ける。（今回はバナナ、イチゴ、ブドウ、ミカン、スポンジ、生クリーム）
②段ボールをスプーンの形に切り、障子紙の筒に差し込み、園芸用ポールと一緒に布ガムテープで巻く。

使用方法：『フルーツケーキいただきます』の絵本を読み、ケーキを積み上げながら作るイメージをつける。次に教師が段ボールの箱を出して、フルーツやスポンジであることを説明。更に食べる真似をしたりしてイメージができるようにする。見本として教師が箱を積んでいき、オリジナルケーキを作る。全部積んで、大きなケーキができたことをアピールし、作ってみたい気持ちを高める。更に、大きなスプーンを出してきて、「いただきます」のかけ声で押して段ボールのケーキを崩し、食べたとして「ごちそうさまでした」のかけ声で終わりを伝える。何度か授業をした後、より愛着がもてるように、自分達でも段ボールにシールを貼ったりしてオリジナルの段ボールにするようにした。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・絵本を読むことで、箱を積むイメージができやすかった。
- ・箱を積んだり崩したりすることが楽しくて、背伸びをしながら積み上げる姿が見られた。
- ・段ボールが丸くなく、ケーキをイメージすることは難しかったと感じられた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・段ボール箱、布ガムテープ（白、黄色、ピンク、青、オレンジ、黒）、障子紙の芯の筒、園芸用ポール

